

自然環境科施設紹介(1)

自然環境棟

- ①「木造」と「新しい教育空間」という発想の中から設計された施設。1996年竣工。
- ②恵まれた美しい環境の中に「土」「光」「風」と地域の風土・文化・産業のつながりを考慮。
- ③グループ学習、共同研究、課題学習を中心に、教卓・教壇・黒板は設置されていない。
- ④高さ約12m、幅約80m、奥行き約15mの2階建て、屋根はゴムアサファルトが主の茶色の瓦葺き。
- ⑤外壁は唐松貼りに木材保護染料として珪藻土で仕上げ、防球ネット、採光、積雪を考慮し「雁木」が設置されている。
- ⑥授業以外にも対外的な活動などでも、幅広く利用されている。



自然環境棟 外観



【ミーティングルーム1】

- 全体で集まる必要がある時、生徒はここに集まる。
- 生徒同士のディスカッション、グループごとの学習成果発表、交流等が行われる。
- プロジェクタやノートパソコン、スピーカーなどの視聴覚機器を一式用意。
- 暖炉も備え付けられ、温かみのある、落ち着いた雰囲気を醸し出すこともできる。



【ミーティングルーム2・キャレル】

- 環境を中心とした専門図書や各種図鑑、資料、標本、はく製等を配置
- 落ち着いた雰囲気の中で、調査・研究活動のまとめなどが行われる。
- 両側にはキャレルと呼ばれる自学自習のスペースがあり、主に個別学習に利用。



【環境工作室】

- 大きな作業机が6つ設置され、机ごとに少人数のグループワークを展開できる。
- また、作図、作画、各種工作物の作成も行われる。
- 教室の後方には実習に必要な機材や、器具類が保管されている。



【環境実験室】

- 水質測定や土壌分析、大気測定など環境にかかわる実験や計測、分析で使用。
- それぞれ実験に必要な装置や器具、光学顕微鏡や実体顕微鏡などを配置。
- 従来の理科的な実験は本校舎の生物化学室で行われる。



【環境情報処理室】

- ノートパソコンが33台設置され、オフィスソフトや動画作成ソフトなどを完備
- あらゆるデータの処理、調査・研究活動のまとめ、各種情報の収集、編集を実施。
- 野外実習などで得られたデータの分析や必要なデータの取り出しなども行われる。

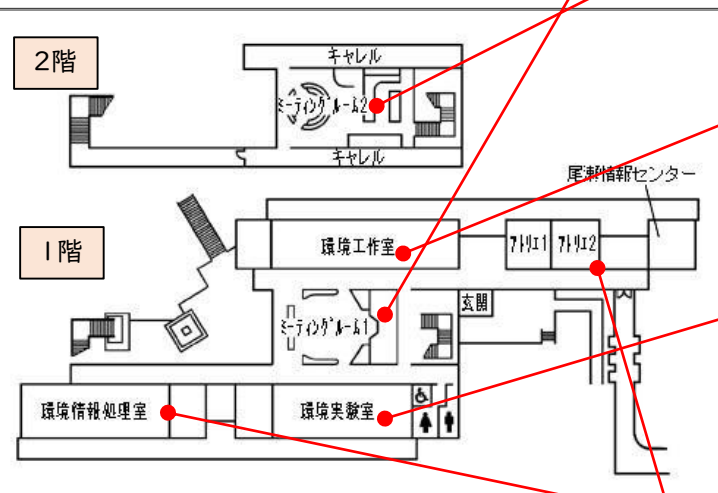


【アトリエ1・2】

- 少人数の科目指導や習熟度に応じた指導、生徒の自主学習やグループ学習を実施。
- 様々な学習形態に対応できるように、2人掛けの机が複数あり、自由に配置できる。

【尾瀬情報センター】

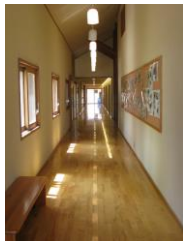
- 尾瀬やそれを取り巻く自然環境のデータやその保護に関する情報を収集し、地域住民をはじめ、多くの方々に尾瀬や自然環境に対する保全意識を高め、尾瀬高校の充実と発展に役立てる目的に設置。



自然環境棟 概要図



2階部分



1階廊下



1階ホール

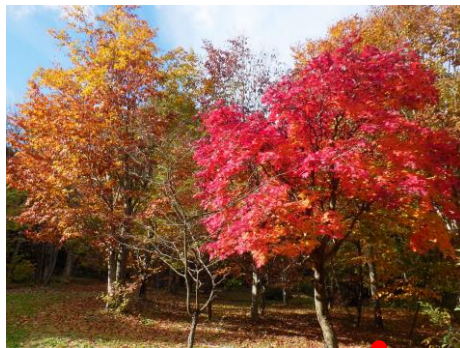
自然環境科施設紹介(2)

自然植物園

- ①自然環境棟の北面に隣接しており、面積約 6,000 m²。
- ②尾瀬を模した小湿地帯があり、尾瀬と同様の木道が敷設してある。
- ③身近に調査や観察ができるよう、必要に応じ授業で活用している。
- ④自然環境調査や自然観察会、管理作業など、自然環境科の生徒により随時、活動が行われている。



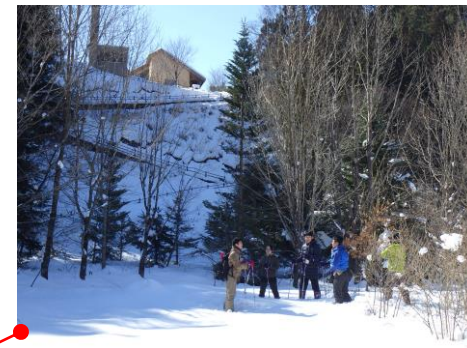
全容



秋景色



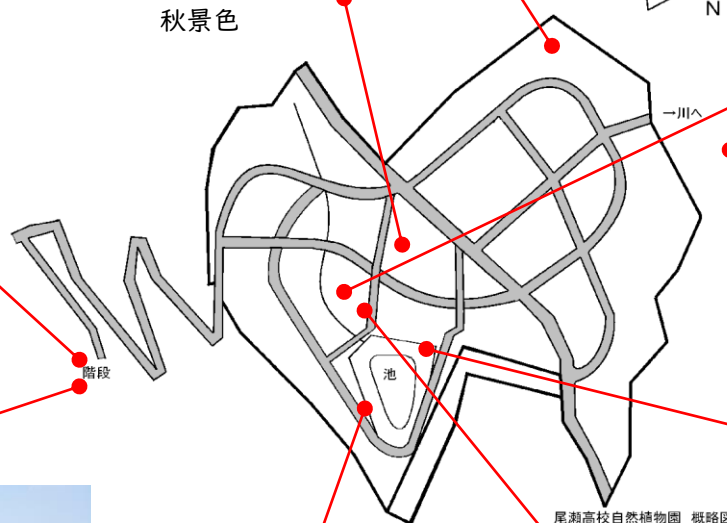
ドローンによる空撮（北側を撮影）



冬の自然観察会



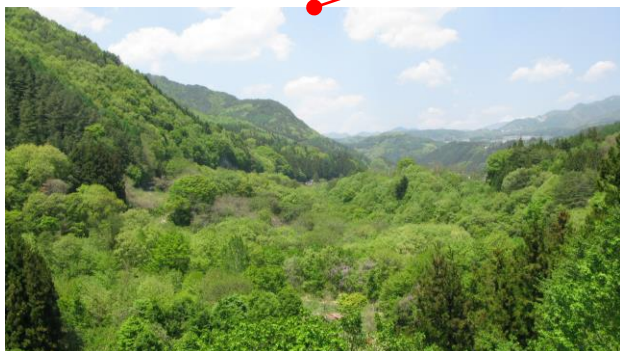
自然植物園 入口



尾瀬高校自然植物園 概略図



自然植物園の下を流れる片品川



自然植物園 入口からの遠望（北方面）



池に咲くミズバショウ



木道とレンゲツツジ



池の生物を対象にした自然観察会